

【県立埋蔵文化財センター ワクワク考古楽学習指導案】

令和2年7月16日(木) 6校時
 曾於市立櫛小学校5・6年生11名
 県立埋蔵文化財センター
 隈元・湯場崎

1 6校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人たちの暮らしについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ。 わたしたちの地域にある、遺跡や文化財について知ろう。	10	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
展開	3 鹿児島を代表する上野原遺跡について知る。 4 アカホヤ火山灰やそれに伴う災害の様子を知り、現在の防災にも繋がることを意識する。	15	○ パワーポイントを使い、上野原遺跡の紹介をする。 ○ 理科で学習する地層の学習とリンクさせ、鹿児島は火山のはたらきでできた地層が多いことや、始良カルデラや鬼界カルデラ、御池の噴火等を紹介する。	○ 縄文時代早期の土器(レプリカ)・石器等(埋文キット)ら
	5 校区内にあった原村遺跡について理解を深める。 ① 原村遺跡の位置 ② なぜ調査が行われたのか。 ③ 調査の概要 ④ 報告書作成について ⑤ 出土遺物に触れる	15	○ 櫛小校区内の遺跡であることや、その周辺には多くの遺跡があることを知る。 ○ 特に縄文時代早期、縄文時代後期、弥生時代、古代の遺物・遺構が発見されたことを知る。 ○ 出土遺物に実際に触れ、感触や重さ、加工の跡などを体感する。	○ 周辺遺跡地図 ○ 年表 ○ 原村遺跡出土遺物
終末	6 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な背景や先人達の暮らしについて考える。	5	○ 1万年以上前から、自分たちの地域には人々が暮らしていて、連綿と人々の生活が営まれてきたことを知る。	

(3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人たちの暮らしについて理解できたか。